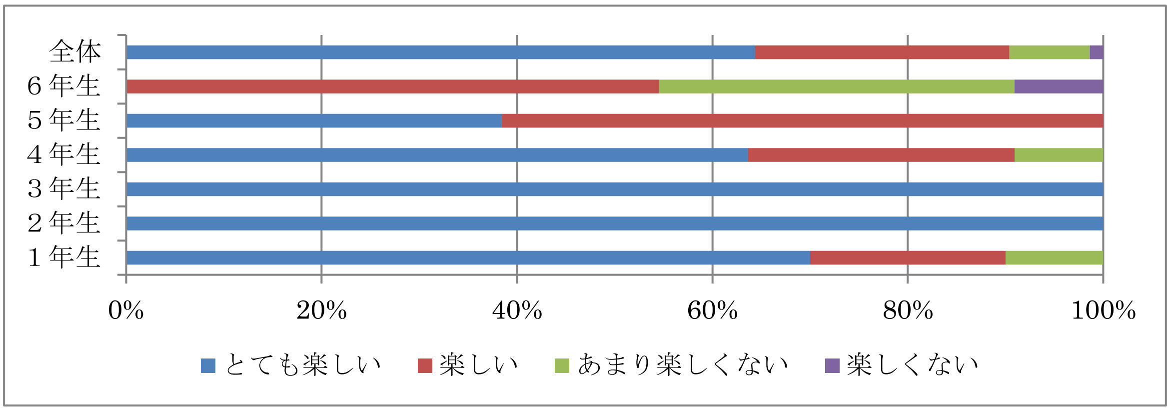
外国語科に関する調査結果（R３年度）

天草市立栖本小学校

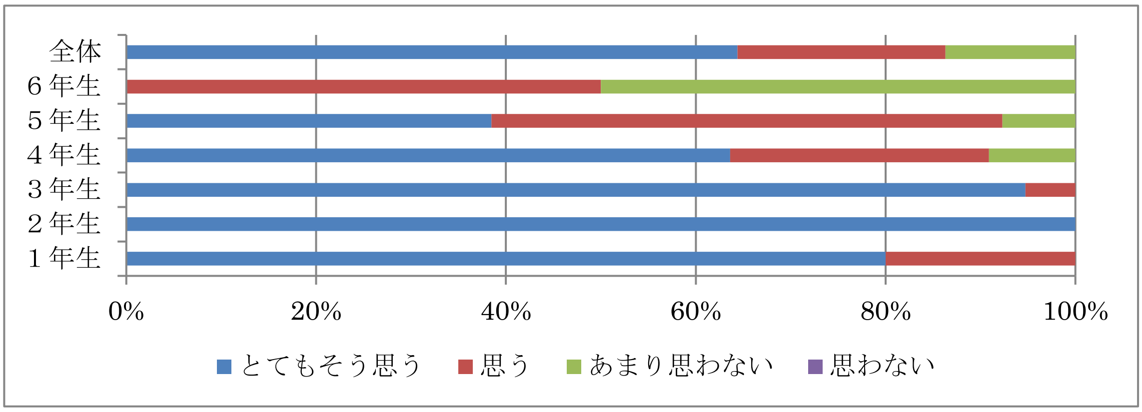
【児童へのアンケート結果より】

（１）外国語科の授業は楽しいですか。



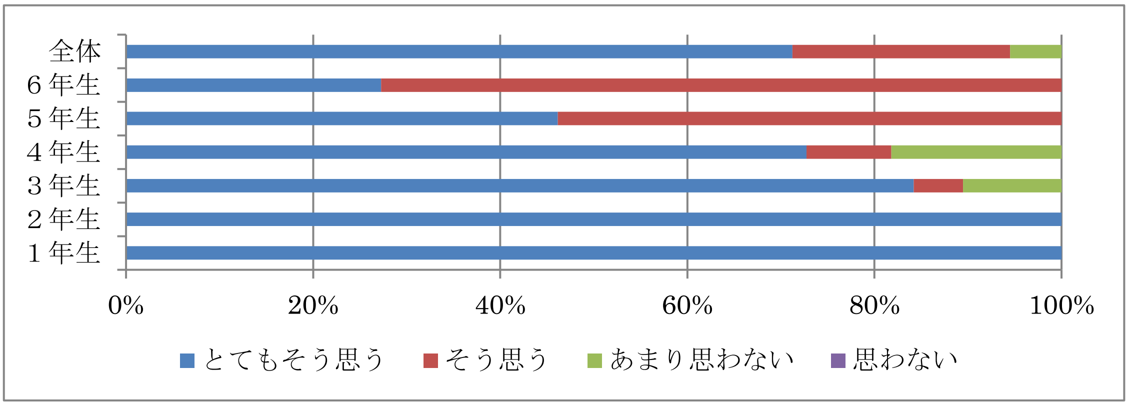
学校全体では、約９０％の児童が、外国語科の授業を楽しいと答えている。特に、２・３学年の児童は、全員がとても楽しいと答えている。外国語科の授業に喜んで参加していることがうかがえる。

（２）外国語科の授業は好きですか。



学校全体では約８６％の児童が外国語科の授業を好きだと答えている。学年ごとにみると、１，２，３年生は、ほぼ全員が好きだと答えているが、６年生では、あまり好きだと思わないと答えている児童が多くなっている。これは，内容が難しくなったと感じているためである。外国語で伝え合うことのよさをより実感できるように、授業内容を工夫していく必要がある。

（３）英語をもっと話せるようになりたいですか。



約９５％の児童がもっと英語を話せるようになりたいと答えている。これは、授業の中で帯活動としてコミュニケーション活動を取り入れたり、映像教材の内容を聴きとったりすることで、英語を使うよさを児童が実感していると考えられる。また授業以外の場面で ALT と積極的に交流する姿も見られた。

【保護者・学校関係者から】

- １年生から計画的に外国語科の授業を行うことで、自然と英語の学習ができている。
- 担任、専科や ALT、英語学習指導補助教員など協力して授業を行い，深い学びができている。
- ６年生には学期に１回ずつ中学校教員が TT として授業を行っており、小中連携を図っている。
- 児童の活動を多くするなど授業を工夫したことで，高学年において昨年より意識の高まりが感じられる。